



令和 4年3月吉日

PIANC 日本部会 会員各位

国際航路協会日本部会  
会長 岡田 光彦

PIANCアジアセミナー2022（ご案内）  
持続可能でスマートな海洋インフラを目指して  
～港湾コンクリート構造物のメンテナンス技術について～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
さて、PIANC 日本部会では、昨年引き続き別紙のとおりオンライン形式によるセミナーを開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 日時 令和 4年5月27日（金） 15：30～18：00
2. 参加方式 オンライン配信  
参加される方は下記 URLまたはQRコードよりオンライン聴講の申込みをお願いいたします。 使用ソフト：ZOOM  
申込URL： <https://forms.gle/H8qSXfSDL6gftVo68>  
申込み完了後、事務局より開会前までにセミナーURL 及びパスワードをお送りします。
3. 講演内容 別紙のとおり
4. 参加費 無料
5. 締め切り 令和 4年5月13日（金）
6. 問い合わせ先 PIANC 日本部会事務局 TEL 03-5226-0357（鈴木、米田）  
[yoneda@pianc-jp.org](mailto:yoneda@pianc-jp.org)



申込用QRコード

7. 連絡事項 土木学会継続教育CPDプログラム付与を希望される方  
土木学会認定 CPD プログラム：2.2 単位 認定番号JSCE22-0255  
・受講証明書が必要な方は、申込みの際にその旨を申請ください。  
・システム記録により受講確認を行います。  
・土木学会による受講確認のため、氏名及び所見を提出して頂きます（100字以内）。  
・受講証明書は後日送付いたします。  
・土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。  
開催当日は視聴に関するお問合せに対応しかねます。



以上



# PIANCアジアセミナー2022

持続可能でスマートな海洋インフラを目指して  
～港湾コンクリート構造物のメンテナンス技術について～



**MLIT**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

**MAFF**  
Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries  
農林水産省



Japan International  
Cooperation Agency

主催：PIANC日本部会  
後援：国土交通省  
水産庁  
(独)国際協力機構

日時：2022年5月27日(金) 15:30～18:00

定員：200名 参加費：無料

使用言語：英語(日本語同時通訳あり)

ウェビナー方式：Zoom

申込期限：5月13日

申込URL：<https://forms.gle/H8qSXfSDL6gftVo68>



QRコードからも申込み可能です



PIANC日本部会会長  
岡田光彦

限りある資源を活用しつつ持続可能な開発目標(SDGs)を達成することが、いま私たちに求められています。インフラ分野においては、質が高く、信頼でき、持続可能なインフラを整備することが必要です。

このような中、既存のインフラを適切に維持管理しながら、長期にわたって所要の機能を発揮させることが重要な課題となっています。PIANC日本部会では、アジアの第一線の研究者、専門家による港湾インフラの維持管理をテーマとしたオンラインセミナーを企画しました。双方向の質疑応答も予定しております。ぜひご参加ください。

## プログラム

15:30 開会

15:35 開会挨拶：PIANC副会長、PIANC-Japan会長 岡田 光彦

15:40 PIANC本部からのビデオメッセージ：

PIANC会長 フランシスコ・エステバン・レフラー

15:50 講演1：日本における港湾構造物のメンテナンスに関する最近の話題について

東京工業大学教授 岩波 光保

16:15 講演2：第1部 タイにおける塩害基準について

第2部 結晶材料の混和と通電によるコンクリート被覆の開発について

カセサート大学教授 ワンチャイ・ヨードスツジャイ

16:40 講演3：コンクリート構造物の耐久性～バングラデシュの展望について～

イスラム工科大学教授 モハメド・タレク・ウディン

17:05 講演4：日本における港湾コンクリート構造物の耐久性向上方策及び維持管理について

港湾空港技術研究所構造研究領域長 山路 徹

17:30 質疑応答

18:00 閉会

ファシリテーター：港湾空港技術研究所主任研究官 田中 豊

バンコク港 タイ国



チッタゴン港 バングラデシュ





## 東京工業大学教授 岩波 光保（日本）

東京工業大学で修士号及び工学博士号を取得。

15年間にわたり、港湾空港技術研究所に勤務して、海洋構造物の設計・メンテナンスに関する研究と技術開発に従事。

2013年に東京工業大学の教授に就任し、現在、鉄筋コンクリート構造物の耐久性向上やインフラ維持管理に関する研究に従事。



## カセサート大学教授 ワンチャイ・ヨードスツジャイ（タイ）

カセサート大学卒業後、東京工業大学で修士号及び工学博士号を取得。

20年間にわたり、カセサート大学においてコンクリート工学分野の研究者及び講師として勤務。現在、カセサート大学工学部の研究担当副工学部長。コンクリート構造物の補修・維持管理に関する研究に従事。アジア地域における多くのコンクリート技術に関する国際会議の講師及び委員会のメンバーを務める。



## イスラム工科大学教授 モハメド・タレク・ウディン（バングラデシュ）

バングラデシュ工科大学卒業後、アジア工科大学で修士号を取得し、東京工業大学で工学博士号を取得。タイ、日本、バングラデシュでコンサルタント、研究者、学術機関の教員として30年以上の実務経験を有する。研究分野は、コンクリート中の鋼材の腐食、コンクリートの持続可能性、耐久性及びリサイクルを対象とする。2002年、日本コンクリート工学協会（現日本コンクリート工学会）(JCI)から海洋環境におけるコンクリートの耐久性分野で優れた貢献を果たしたことで、奨励賞を受賞。



## 港湾空港技術研究所構造研究領域長 山路 徹（日本）

九州大学で修士号及び工学博士号を取得。

運輸省（現国土交通省）入省後、20年以上にわたり、港湾空港技術研究所において、港湾コンクリート構造物の耐久性に関する研究業務に従事。

2008年より2年間、関西国際空港（株）建設事務所において、現場の調査・設計業務にも携わる。2012年より現職。



## 申込みについて

- ・申込URL <https://forms.gle/H8qSXfSDL6gftVo68>  
(申込期限：5月13日)
- ・申込み完了後セミナー視聴用URLをメールにて送付します。
- ・土木学会CPD単位にお申込みの方にはセミナー終了後メールにて連絡致します。
- ・問い合わせ先 PIANC日本部会  
担当：鈴木、米田 TEL：03-5226-0357  
E-mail [yoneda@pianc-jp.or.jp](mailto:yoneda@pianc-jp.or.jp)



QRコードからも  
申込み可能です